

とだご議会だより

No.220

12 令和4年
月定例会

発行：令和5年1月31日
(2023年)



- とだみらい会議を開催！ 中学生とオンラインで意見交換 ▶ 02
- 原油価格・物価高騰対策で市民生活を支援！ ▶ 04
- そこが聞きたい！ 一般質問 20人の議員が質問 ▶ 06
- 「その後」を追跡！ あの提言はどうなった？ ▶ 16

戸田市議会

検索

<https://www2.city.toda.saitama.jp/gikai/>
表紙:新年を祝う会(新曾南保育園)



とだみらい会議@オンライン 中学生 × 議員

中学生との意見交換会を開催!

中学校の学習指導要領に「主権者教育の推進」が位置付けられたことを受け、議会を身近に感じてもらい、自分たちの住むまちや政治への関心を高めることを目的に、本市議会では初めてとなる中学生とのオンライン意見交換会を開催し、11人の中学生が参加してくれました。



意見交換会の開催に向け、実行委員会を設置して準備を進めてきました。



私が中学生だった頃は
こんな子供でした～



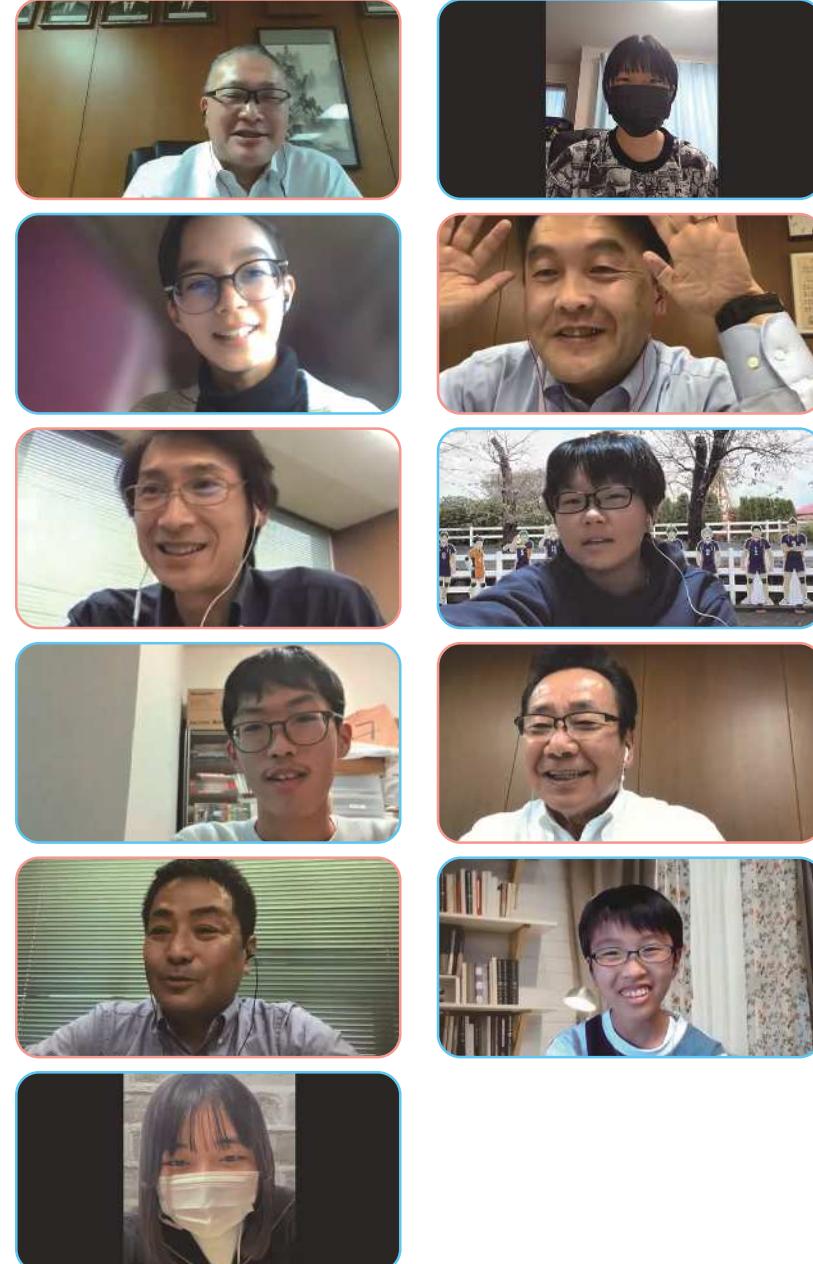
～とだみらい会議の流れ～

全員参加の全体会で挨拶・説明
(20分)

↓
7~8人ずつで3グループに分かれて意見交換
(40分)

↓
全員参加の全体会に戻って振り返り
(40分)

平成の出来事も
歴史の授業なの!?



参加した中学生の感想(実施後アンケートより)

- 議員さんがフレンドリーだった
- もう少し話せる時間があったらいいと思った
- 議員さんや他の学校の人たちと意見交換して楽しかった
- また参加したいと思った

またお会いできるのを
楽しみにしてま～す♪



令和4年12月定例会

11月28日～12月16日

主な議案と質疑

今定例会では、市長提出議案などが32件、議員提出議案が3件、委員会提出議案が1件提出され、いずれも承認・可決・同意されました。

ここでは、質疑が行われた議案などを紹介します。

原油価格・物価高騰対策で市民生活を支援！

「原油価格・物価高騰対応 緊急支援パッケージ第二弾」に向けた補正予算などを可決

支援策
その1

議案第75号 戸田市立学校給食センター条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例 他2件

給食費無償化などで子育て世帯を支援

子育て世帯の支援を目的に、国の交付金を活用し、1月から3月までの3ヶ月間、すべての小中学校と保育園・幼稚園などの保育施設における給食費を全額無償化する他、こども食堂など、子供の居場所づくりを行っている団体に対する食糧支援などを行うものです。



支援策
その2

議案第76号 令和4年度戸田市一般会計補正予算（第10号）

運輸事業者や保育施設などの経営を支援



燃料価格高騰の影響を受ける運輸事業者に対する支援として、貨物自動車1台当たり1万円、軽貨物自動車1台当たり5千円を補助する他、県の補助金を活用し、保育園・幼稚園、学童保育室などに対する光熱費の補助を行います。

子育て
支援

議案第100号 令和4年度戸田市一般会計補正予算（第12号）

妊娠から子育てまでの伴走型支援を実施

安心して出産・子育てができる環境を整備することを目的に、妊娠婦への伴走型相談支援を充実させるとともに、一体的な経済的支援を実施するため、面談を行った妊娠婦などに、妊娠届け出後に5万円、出生届け出後に5万円の計10万円を給付するものです。



組織
改正

議案第84号 戸田市行政組織条例及び戸田市空家等対策審査会条例の一部を改正する条例

土地区画整理事務所の全機能を本庁舎に移転

令和5年度から現在の土地区画整理事務所の機能と工事担当を集約して体制を強化した「まちづくり区画整理室」を新設するものです。

Q 組織改正による影響は。

A 土地区画整理事務所の全機能を、令和5年4月1日から本庁舎へ移転する。移転後の建物については跡地利用の検討などに時間を要するため、現時点では当面の間、維持する予定である。

駐輪場

議案第85号 戸田市自転車駐車場条例の一部を改正する条例

市営駐輪場を第二種原動機付自転車も利用可能に

JR3駅周辺の駐輪場利用者の拡大と利便性向上を図るため、令和5年4月1日から、駐輪場を利用できる車種に総排気量51cc以上125cc以下の原動機付自転車を追加するとともに、通勤、通学の利用者に限定していた資格要件を廃止するものです。



指定
管理

議案第92号 指定管理者の指定について

介護老人保健施設の指定管理者を指定

介護老人保健施設（ろうけん）の現指定管理期間が令和4年度で満了となることから、令和5年度から令和10年度までの5年間の指定管理者を指定するものです。

Q 指定管理者制度導入に対する評価は。

A スタート当初は試行錯誤もあったものの、全体的には入所率や在宅復帰率が改善するなど、経営面からの観点、また、利用者へのサービス向上の観点からも効率的で有効な施設運営が実現してきたと考えており、引き続き、指定管理者制度で運営していくことが必要である。

陳情

今定例会では3件の陳情が提出され、委員会にて審査した結果、2件が採択、1件が継続審査となりました。

◇陳情第7号 令和5年度理科教育設備整備費等補助金予算計上についてのお願い 採択（全会一致）

◇陳情第8号 要介護1、2の人の生活援助等の介護保険給付を市町村の総合事業に移行することについての意見書提出に関する要望書 継続審査

◇陳情第9号 戸田市立小・中学校での感染症対策における児童・生徒のマスク着用に関する陳情 採択（全会一致）

人事

◎戸田市教育委員会委員

木村 雅文氏（再任）

◎戸田市公平委員会委員

峯岸 孝浩氏（新任）

《結果》いずれも同意（全会一致）

意見書

議員提出議案として意見書3件を可決し、国・政府に提出しました。

- ◇帯状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書
- ◇知的障がい者・知的障がい行政の国に対する対応拡充を求める意見書
- ◇学校給食の無償化を求める意見書



園児の安全対策

ハードとソフトの両面で
しっかり対策を
みらいの会
そごう 拓也 議員

- Q 幼稚園、保育園の送迎での安全対策は**
A 施設への巡回指導や監査などを実施

議 員 幼稚園、保育園の送迎バスでの安全対策は。
こども健やか部長 送迎バスは私立幼稚園10園と認可外保育施設2施設で利用している。指導は、施設巡回、監査、研修会などで実施する。また、国から県・市へ安全管理徹底の通知も出されている。普段はバスを利用しない施設も、遠足時にはバスの利用もあるため、マニュアルを整備し、事故防止策をしっかり推進する。

議 員 ①バス以外の自家用車などでの送迎への対策は②事件の背景には、慢性的な人手不足などの保育現場の別の課題も考えられる。保育士の労働環境の改善は③特別支援学校、民間スポーツ施設など、バスで送迎を行う施設は他にも考えられる。これらの施設が安全装置設置への補助などを望む場合の支援は。

こども健やか部長 ①欠席時は朝9時までに連絡するよう指導している。連絡がない場合は保護者に確認している。保護者に連絡が付かない場合は、緊急連絡先への連絡や家庭訪問を行っている②保育士の労働環境は、国・県・市の補助などで継続的に支援する③安全装置設置への支援は、国の動向を注視し検討する。

議 員 送迎は幼稚園・保育園以外にも学童、特別支援学校、民間スポーツ施設など多岐にわたる。ハードとソフトの両面で、定期的な確認などのしっかりした安全対策を強く要望する。



安心して利用できる送迎バスが求められます



新年度予算編成

6億円の財政負担が
可能な財政力はある
日本共産党戸田市議団
本田 哲 議員

- Q 予算編成の基本的な考え方は**
A 命と暮らしを守るために施策を実施

議 員 物価・原油価格高騰などで、市民生活は厳しさを増している。新年度予算は、本市の豊かな財政を生かし、市民の命と暮らし、営業を守る予算にすることが必要と考える。予算編成の基本的な考え方。

企画財政部長 市民の命と暮らしを守るため、コロナ感染拡大防止策、原油価格・物価高騰に対する施策などを積極的に実施していくこととしている。

議 員 国からの交付金を活用し、1月から3月までの給食費が無償化となる。子育て世帯へのさらなる負担軽減として、令和5年度からの学校給食費無償化の継続が必要と考えるが、市の見解は。

教育部長 無償化を行う場合、毎年約6億円の財政負担となることから、学校給食費の負担軽減は、国の交付金の活用や一定の条件の下で実施していくたい。

- Q 福祉センターの浴室利用の再開を**
A 感染状況などを踏まえ検討する

議 員 高齢者のワクチン接種が進んでいることも踏まえ、福祉センターの浴室利用を再開すべきではないか。

健康福祉部長 再開は、厚生労働省から示される感染症対策の動向や感染状況などを踏まえ慎重に検討する。



3月まで無償化される学校給食



障害者の政治参加

誰もが利用しやすい
投票環境の整備を
戸田の会
佐藤 太信 議員

- Q 戸田かけはし高等特別支援学校との連携を**
A 当事者からのご意見やアドバイスを伺う

議 員 ①若年層の政治参加への意識を高めるため、主権者教育の推進に向けた計画策定を②投票所のバリアフリー状況について把握と周知を③知的障害者への支援は④戸田かけはし高等特別支援学校との連携を。

行政委員会事務局長 ①関係部局との連携構築に向け、取り組みの推進における役割分担や連携できる取り組み内容と実施時期などについて協議を進める②手すりや車いすなどの設置状況を調査し、市ホームページで公開する③投票事務従事者マニュアルに対応を明記し、事前研修時に投票事務従事者に周知する④当事者からのご意見やアドバイスを伺い、必要な支援につながることから連携して取り組んでいく。

- Q イベントでの手話通訳者配置の改善を**
A 手話通訳者の活用について周知する

議 員 ①ふるさと祭り、戸田マラソン大会時に手話通訳者が配置されていない時間帯があったので改善を②イベント開催時に手話通訳者の有無について事前周知を③手話言語条例制定後を振り返るために当事者の声を。

健康福祉部長 ①②手話通訳者の活用について各課に周知する③当事者団体のヒアリングを実施するなど、今後の施策や計画策定の参考にする。



支援を受けながらの投票の様子 提供：狛江市



保育士の処遇改善

命や人権が大切にされる
社会の実現のために
日本共産党戸田市議団
むとう 葉子 議員

- Q 宿舎借上支援事業の継続と保育士増員を**
A 安心して働き続けられる体制を維持する

議 員 以前から、過重な労働条件による保育士の離職が問題となってきた。保育士が安心して働くよう宿舎借上支援事業の継続と保育士の増員を。

こども健やか部長 宿舎借上支援事業は、国や県、近隣市の状況を見て検討する。近年は特別支援保育の対象園児の増加や保育ニーズの多様化、新型コロナ対策の長期化が課題となっている。保育士の増員については、安心して働き続けられる体制を維持する。

- Q 自己決定していくための包括的性教育を**
A 命や人権の尊重を考える講座を実施する

議 員 性に関する情報は、性産業が発信するものが多く、予期せぬ妊娠や性の加害者・被害者になることが懸念される。包括的性教育の実践で自己決定していくための知識を学ぶ機会を設けてはどうか。

こども健やか部長 保育園・幼稚園では健康や安全、命の尊さについて考える機会をつくっている。
教育部長 医師や助産師などの外部講師が性教育を実施している学校があり、校長会などで情報提供する。市民向けには、命や人権の尊重を考える講座を実施しており、性に関する正しい知識は重要であるため、テーマに取り入れる。



性に関する書籍



避難所運営

つぶやき
避難所運営は地域が中心に！

戸田の会
野澤 茂雅 議員

Q 避難所運営体制の今後の方針は

A 自主防災会を中心とする運営が望ましい

議員 避難所運営の課題は運営体制の確立と指示命令系統の徹底だが、避難所運営体制の方針は。

危機管理監 避難者が役割を分担し、多くの人が避難所運営に参画できるよう避難所運営委員会を組織する。地域の実情をよく理解されている自主防災会の皆様に、中心的な役割を担っていただくことが望ましい。

議員 避難所運営委員会の体制について①市職員、学校職員は補完的役割と考え、自主防災会が主導する②運営リーダーの優先順位を付ける③常に避難所の状況を把握するため、自主防災会による避難所確認訓練の定期的な実施を要望する。

Q 中学校部活動の地域移行の経過は

A スポーツ庁推進事業の実証研究中である

議員 国は2025年度末までに、部活動を地域の指導者や団体に移行させる方針であるが、本市の状況は。

教育部長 スポーツ庁の事業に参加し、新曽中学校を拠点校に実証研究中で、今後もさらなる研究を進める。

議員 生徒にも教員にも「持続可能な部活動」として、「参加機会の多様性と公平性」を意識しての推進を。



日頃からの訓練による避難所運営体制の確認が求められます



交通安全対策

つぶやき
安全対策にはやはり信号機設置を！

みらいの会
熊木 照明 議員

Q 戸田駅西口駅前の横断歩道に信号機を

A 交通安全対策について警察と協議する

議員 戸田駅西口駅前交通広場から戸田翔陽高校側に渡る横断歩道では、朝夕の時間帯に交通量が多く、交差する車両などの渋滞が発生している。大変危険を感じているが、現在の交通安全対策について伺う。

都市整備部長 ワークショップを通じ、計画段階で警察と協議して交通広場を整備した。横断歩道は、歩行者の利便性と交通安全対策を考慮し、駅から最短距離となる1箇所とした他、歩道と車道の間に横断防護柵を設置した。

議員 同じ状況が赤羽駅西口にも見られ、交通誘導員が配置されている。本市でも交通誘導員を配置するか、最善策としては信号機の設置を要望するが市の見解は。

都市整備部長 交通誘導員の配置予定はないが、横断歩道の利用状況を調査し、交通安全対策について警察と協議する。

Q 新曽さくら川の桜の木の維持管理は

A 職員による目視点検などを行っている

議員 桜の寿命の判断や根上りなどの維持管理は。

水安全部長 職員による目視点検や、委託業者による樹木診断を行い、桜並木が健全に保全されるよう管理に努めている。



信号が設置されていない戸田駅西口前の横断歩道



子育て支援

つぶやき
社会保障は「ゆりかごから墓場まで」充実を

日本共産党戸田市議団
花井 伸子 議員

Q 18歳年度末までの通院費を無料に

A 将来的な財政負担を考慮して判断する

議員 18歳年度末まで通院費を無料にしている市区町村は全体の47%に及ぶ。本市でも拡大しては。

こども健やか部長 今後の影響額などを見極め、一定程度の期間を経た上で判断する。

議員 拡大分の医療費の見込みはいくらか。

こども健やか部長 年間およそ1億円と試算している。

議員 市長の公約もあり、決断すべき。

市長 社会情勢を見極め、子育て支援全体の枠組みや、将来的な財政負担等を考慮して、慎重に検討する。

Q 消防職員の育成・強化・待遇改善を

A 他消防を参考に見直しを検討する

議員 ①他消防で実施している消防職員の大型免許取得への補助金制度を復活させ、公務扱いとすべき②災害出動の特殊勤務手当1回120円の引き上げを。

消防長 ①今後、機関員不足が見込まれる場合、他消防の補助制度や取得時の勤務扱いなども参考にしながら検討する②他消防の実態などを研究する。

議員 消防職員の増員計画は。

消防長 令和3年から毎年3人ずつ増員しており、合計12人を増員する。令和6年度以降は業務量や人員、組織体制などを踏まえ、総務部と連携して検討する。



運転には大型免許が必要な消防車両



産後ケア

つぶやき
育児は一人で頑張り過ぎなくていいんです！

公明党
三輪 なお子 議員

Q 産後ケア事業を拡大すべき

A 他市の実施状況などを参考に検討する

議員 本市の産後ケア事業は居宅訪問型を実施しているが、宿泊型・通所型など事業の見直し、拡大を進めるべきと考える。市の考えは。

健康福祉部長 宿泊型・通所型産後ケアは、専門職による実施体制や、実施場所として専用の施設が必要となるなど課題がある。今後、ニーズの把握や他市の実施状況を参考に検討していく。

議員 政府が決定した「総合経済対策」では、妊娠から出産・子育てまでの一貫した伴走型相談支援と経済的支援を一体的に行うこととし、すべての妊婦に寄り添い、相談を通じたニーズに即した支援と孤立防止を目的としている。そんな中「産後ドゥーラ※」のニーズが高まっている。本市においても、産後ケア事業の拡充に産後ドゥーラなどの民間事業者による支援の導入や、産後ドゥーラ育成が必要と考える。市の考えは。

健康福祉部長 産後ケア事業の拡充や、さまざまなサービスを利用できるような支援体制を検討していく中で研究する。

その他の質問

Q 9価HPVワクチン※の定期接種化に伴う周知は。

A 国からの情報を基にホームページなどで発信する。



産後間もないママに寄り添ってくれる頼れる存在
提供：梁川 妙子様（一般社団法人ドゥーラ協会認定産後ドゥーラ）



交通安全対策



子供たちの安心安全を
みんなで考えよう！

公明党
竹内正明議員

Q 地域全体で子供たちを見守る体制づくりを

A 無理なく楽しくできる空気を醸成する

議員 通学路の交通安全対策について、交通指導員の委託費用増大や人材の確保などの課題がある。今後は学校や担当部署だけでなく「地域全体で子供たちを見守る体制づくり」を市全体で考え構築していくべきだ。「企業の協力」「交通安全推進隊」「登下校見守りハンドブックの配布」などを提案するが、市長の考えは。

市長 議員の提案も踏まえ、地域全体で無理なく楽しい見守り活動ができる空気を醸成することを目指す。地域ぐるみで安全安心の通学環境づくりに取り組む。

議員 これまで「見守り防犯カメラ」や「情報提供のスピード化」など、防犯対策を提案し実現してきた。特殊詐欺の犯罪が多発する今こそ、さらなる強化が必要だ。導入時期や種類も違う「防犯カメラ」の一元管理で町会の負担減や利便性の向上、「市全体を俯瞰しマップで考える防犯対策」など、見直して進化させるべきだ。

市民生活部長 令和7年度にはすべての町会防犯カメラを市に移管する方向で調整中。今後見守り防犯カメラと町会防犯カメラの管理運用の一元化へ向けた取り組みを推進し、犯罪情勢などを勘案し設置場所も見直していく。



文部科学省が発行する「登下校見守りハンドブック」



がん対策



つぶやき
いまだ、がんは怖い病気
定期検診で、がん撲滅を！

公明党
三浦芳一議員

Q がん対策をまとめた冊子の作成を

A 総合的な冊子の作成を検討している

議員 「戸田市がん対策推進条例」の早期制定と、がん対策をまとめたマニュアルなどの冊子作成を。

健康福祉部長 がんは、生涯で2人に1人がかかると言われており、患者の3人に1人は現役世代。さまざまな情報をまとめた総合的ながん対策の冊子の作成を検討している。

議員 脱毛や爪の変色など、治療の副作用や傷跡が残る外見の変化に対するアピアランスケアや、若年層へのターミナルケア^{*}などに対する助成制度の創設を。

健康福祉部長 外見の変化に起因する苦痛を軽減するアピアランスケアやターミナルケアに関する助成制度について、早急に検討する。

Q 理念条例「ありがとう条例」の創設を

A 社会情勢などを注視し、調査研究する

議員 全国では、地域の特性を生かしたユニークで楽しい理念的な条例が誕生している。予算もほとんどかかりない。言った方も言われた方も元気になり楽しくなる不思議な言葉「ありがとう」の条例の検討を。

企画財政部長 時代の変化により生じる新たな行政課題に迅速に対応できるよう、社会情勢や他自治体の状況などを注視し、今後、調査研究していく。



早期発見が重要ながん治療

*ターミナルケア……病気で余命わずかな人などに対して行われるケアで、治療による延命ではなく、苦痛の緩和などにより生活の充実を目指すもの



浸水対策



つぶやき
荒川決壊前に市内で
浸水被害を起こさない

みらいの会
古屋としみつ議員

Q さらなる貯留施設を整備できないか

A 慎重に研究を進めていく必要がある

議員 新曽の北大通りに貯留管を整備しているが、さらにその先まで延ばすなど、貯留管も含め、浸水の多い地域にも貯留施設を整備することはできないか。

水安全部長 浸水が発生しやすい地区においては、貯留施設の整備が有効である。最も効果的な対策について、慎重に研究を進めていく必要があると考える。

議員 近年の大雨の傾向を考慮し、これまでの基準での整備を継続するだけでなく、大雨に耐えうる新たな対策や計画の見直しが必要。また、部分的・場当たり的な対策ではなく、市内全域を総合的に見据えた対策を進めるべき。そして、市民、地域の皆様へ根拠を持った説明を行い、地域の声を聴き、意見を取り入れながら進めることが重要だ。これらを踏まえ、今後の治水の取り組みについて市長の考えを伺う。

市長 議員からの提案も踏まえ、今後においても部分的・場当たり的な対策ではなく、市内全域における浸水被害の軽減に対して、それぞれの地域の特性を考慮し、地域の皆様にご理解ご協力をいただきながら、国、県と連携した総合的な浸水対策のさらなる推進に努める。



令和元年台風第19号で水没した道満グリーンパークと復旧後の様子



空き家対策



つぶやき
管理不全な空き家の改善を！

公明党
みうら伸雄議員

Q これまでの空き家対策の取り組み成果は

A 4年間で管理不全の空き家は4割減少した

議員 これまでの空き家対策の成果は。

都市整備部長 平成30年度から令和3年度までの4年間で、管理不全な空き家が4割程度減少した。

議員 令和3年度末時点では市が把握している、依然として管理不全な空き家の件数はどれくらいあるか。

都市整備部長 市が把握している管理不全な空き家は、令和3年度末時点で46件となっている。

議員 空き家の所有者に対し、管理指導や支援策の紹介などはどのくらいの頻度で行われているか。

都市整備部長 管理不全な空き家の所有者に対し、周辺住民からの要望や空き家の状況変化に応じて、適正な管理指導と支援策の紹介を年1回以上実施している。

議員 高齢単身・高齢夫婦世帯が相続時など将来に備えた「空き家の発生予防」を元気なうちに実現するようガイドラインを作成し、「空き家予防対策実践セミナー」を開催するなどの考えはあるか。

都市整備部長 空き家の予防や管理、活用のための「空き家ガイド」を作成し、高齢者世帯への配布などの周知活動を実施している。令和元年度には空き家の予防をテーマとしたセミナーや相談会を開催していたが、令和2年度以降は新型コロナの影響により中止している。今後はセミナーや相談会を再開し、関係団体と協力して空き家の予防に取り組んでいく。



周辺環境にさまざまな影響が出る管理不全な空き家



公園リニューアル

録画配信
QRコード

社会実験第1号
「トダイルミ」を見てください

とだ彩光会
林 冬彦 議員

Q 社会実験を通じて得られた課題や知見は

A 複数の取り組みがあると相乗効果が生まれる

議 員 市が現在進めている「戸田市公園リニューアル計画」の進捗状況はどうか。

環境経済部長 令和5年度までは公園のリニューアルに向けた「ノウハウを蓄積する基盤整備の時期」と考えており、公園の活用を図る「社会実験を中心としたソフト展開」、ワークショップなどにより市民の皆様の意見を取り入れた「モデル公園のハード更新」、「効率的な公園管理運営」など、おおむね計画通りに進んでいる。

議 員 公園でのにぎわい創出のノウハウを得るために、現公園の利用制限の一部を緩和して実施した社会実験で得られた知見は。また、新たな動きはあるか。

環境経済部長 単独より複数の取り組みがある催しには、集客について相乗効果が期待できることが分かった。さらに、民間事業者が市営有料施設を商業的に活用し、その収益の一部を公園での子供の遊びをサポートする市民活動団体支援に活用することで、今後、公園各所に新たな利活用が生まれる取り組みを準備している。

議 員 私も裏方で参加するイルミネーション「トダイルミ」もそうだが、取り組みが多くの方々を結びつけ、各所に波及するとともに、関わる市民が地域に愛着を持つ流れは素晴らしい。今後の計画に大きく期待する。



毎年定番となっている後谷公園の「トダイルミ」



成年後見制度

録画配信
QRコード

本人と家族のための
ミスマッチの防止を

戸田の会
矢澤 青河 議員

Q 後見制度の理解を深め、慎重な活用を

A 影響などを理解した上で利用するよう説明

議 員 成年後見制度^{*}はもともと「家族が無料で、家族の後見人をする」想定で制度設計されたが、現在の制度は法律や手続きが難しく、法定後見人に選ばれるのは、家族が2割、弁護士などの士業が8割。業務も財産管理などが中心で、ニーズの高い生活ケアなどの身上監護が少ない。さらに、途中で辞められない、後見人の解任が困難、毎月2~8万円ほどの費用負担など、欠点が多い制度である。後見を始めるきっかけは、認知症となり預貯金などの管理・解約のためが最も多いが、それだけのために、一生続く後見を選択するのは賢明ではない。また、後見人は専門職ごとに特色や強みが異なるが、現在の相談先は弁護士や司法書士などの士業が多く、「そもそも後見が必要か」「その他の対策は」など総合的に判断してくれる相談先がないことも課題。後見制度は、判断能力が不十分な方の救済措置として、無くてはならない制度である。しかしながら、利用者の思いと制度の乖離が大きく、市民が「こんなはずでは」とならないよう、市民・行政・関係機関が理解を深め、慎重な活用が必要である。制度の状況について伺う。

健康福祉部長 制度の案内では、後見人選任による影響などを理解して利用するよう説明している。

▼後見を始める原因やきっかけ



▼専門職毎の後見人の特色と強味

弁護士・司法書士等	社会福祉士・社協等	市民後見人等
財産・相続等が強み、身上監護は弱い(面会1-2回等)	身上監護が強め(面会月1回等)	無低報酬、身上監護が強み、数が少ない

▼成年後見制度を巡る近年の変化

選任	・弁護士ら専門職中心 ・解任は限定的
報酬	財産に応じた一律額
業務	財産管理が中心
後見人支援	一部地域団体が実施

成年後見制度……認知症などの理由で判断能力が不十分な方の財産や権利を守るために、家庭裁判所に選ばれた後見人が本人の代理として法的に支援する制度



人身事故対策

録画配信
QRコード

睡眠、運動、食事…
心の健康に気を付けましょう

戸田の会
酒井 郁郎 議員

Q 鉄道の人身事故防止に全力を尽くせ

A 全力を尽くして悲劇をなくしていく

議 員 市民の自殺者が増えている。直近3年間は女性と若者が1年当たり約6人増加。2022年の人身事故6人は全員が10代、20代の若者。ホームドア設置に向けたJRとの交渉は本市の最優先課題である。

市 長 一刻も早い実現に向けて、JRへの要望を進めていく。ゲートキーパー^{*}養成講習は自身も受講し、部局を超えた協力体制など、喫緊の課題として「心の健康」を守る取り組みを進めていく。

放課後学習の充実を

A 現在の事業を継続しながら研究していく

議 員 放課後の学習時間を延ばすことで、学力向上や進学のチャンスを広げ、いわゆる「貧困の再生産^{*}」を止める一助となる。^①低所得世帯は塾代を工面できずに進学を諦め、結果的に収入の高い仕事に就けない場合が多い。高校受験の通塾支援を^②学校や図書館、公共施設内にスペースを確保、カフェのように会話や飲食の提供ができ、自主学習に集中できる環境の整備を。

教育部長 ①現事業を継続しながら研究していく②図書館の学習スペース拡大は、書棚撤去など課題がある。利用者の利便性向上のため、自習もできる場所の情報提供を行っていく。



蕨駅のホームドア。蕨市の猛烈な働きかけで前倒しに成功



家族介護者支援

録画配信
QRコード

まずは地域包括支援センターに相談を

公明党
石川 清明 議員

Q 在宅要介護高齢者介護支援金の増額を

A 全体のバランスを検討し、適宜見直す

議 員 在宅介護実態調査から見えた課題や問題点は。健康福祉部長 介護者の不安を和らげ、負担感をどう軽減させていかが今後の課題である。

議 員 調査結果から見えた老々介護の実態は。

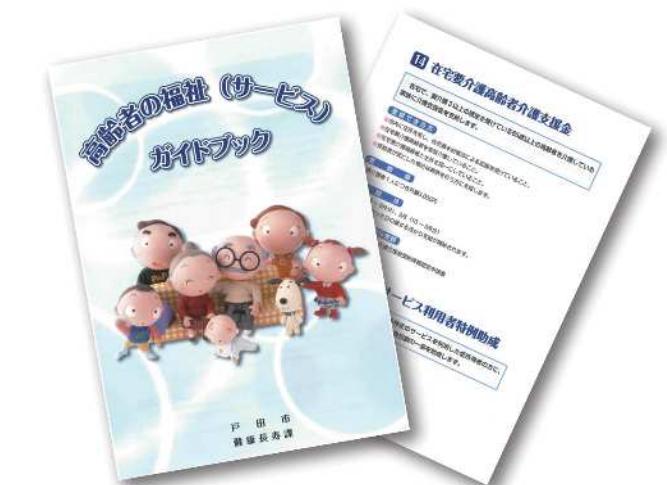
健康福祉部長 高齢者が高齢者を介護するという世帯も一定数いることから、各世帯の介護状況に応じた支援として、見守り活動を引き続き実施する。

議 員 本市の在宅要介護高齢者介護支援金の現状は。

健康福祉部長 在宅で要介護3以上の高齢者を、常時介護している市民に月額5,000円を支給する事業で、令和3年度の支給実績として605人に対し、2,489万円を支給した。

議 員 在宅要介護高齢者介護支援金の増額の検討は。

健康福祉部長 本市では支援要件に所得要件を設けておらず、市民税課税世帯でも支給を受けられる他、生計が同一で、常時介護を行っていれば、要介護者と別世帯であっても支給対象となり、支援金が幅広く行き届くようにしている。また、他市では要介護4以上を対象としているところが多い中、本市では要介護3以上を対象としている。高齢化の進展や介護福祉サービス全体のバランスを検討していく中で、適宜見直していくたい。



いろいろな支援策が掲載されている本市の「高齢者の福祉（サービス）ガイドブック」



見守り防犯カメラ

通学路の安全確保を
徹底してほしい

立憲民主とだ
小金澤 優 議員

Q 見守り防犯カメラの新規設置は

A 必要性について隨時検討する

議員 「新しいマンションの周辺に見守り防犯カメラを設置してほしい」と相談されているが、設置可能か。

市民生活部長 子供の増加も見込まれるため、周辺の設置状況や犯罪情勢などを勘案するとともに、設置場所見直しなどの必要性について隨時検討する。

議員 マンション建設時は、事前に検討してほしい。見守り防犯カメラが設置されていない場合は見守りサービスもないということか。

市民生活部長 見守りサービスは、各見守り防犯カメラに受信機が組み込まれているものである。カメラの設置場所は、見守りサービスも考慮して決定しているため、見直しなどについても、カメラと一緒に検討する。

議員 見守りサービスの不具合で信号が途絶えたことがあるが、機器のエラーはどのように復旧するのか。

市民生活部長 利用者から検知エラーを市に連絡いただき、職員が庁舎の管理システムを用いて再起動し、その後、業者が現地で動作確認を実施する。検知エラーの対応方法は業者と調整を重ね改善を図っていく。

その他の質問

Q 精神障害者手帳2級の自己負担額は。

A 精神通院以外は医療保険により原則3割負担。



位置情報が分かることで安心できる
(実際の見守りサービスの画面)

「その後」を追跡! あの提言はどうなった?

市議会では、本会議での一般質問や委員会が提出する提言書、市民からの請願など、さまざまな方法で市に要望を伝えています。ここでは、議会からの要望の「その後」を追跡します。

平成31年1月 総務委員会が提出
「市役所業務における
ICT化に関する提言書」

「ICTを利用した窓口改革を!」

市民の利便性向上に向け、あらゆる窓口改革を
検証・推進することを提言

あれから4年…

『書かない窓口』を導入した
『おくやみコーナー』を設置!!



遺族の負担軽減を目的に、死亡に伴う必要な手続きの案内や、『書かない窓口』を利用した申請書の作成支援などをワンストップで行える『おくやみコーナー』が、令和4年12月に、市役所本庁舎に設置されました。

その他にも、キャッシュレス決済への対応や、市民課窓口の混雑状況のインターネット上の情報提供の開始、公式LINEからも利用できる、スマートフォンで手続きが完了する『スマート申請』や各種通報機能の導入など、ICTを利用したさまざまな窓口改革が進められています。



委員会視察レポート

文教・建設常任委員会

学校法人堀井学園
(横浜創英中学・高等学校)

同校では「自ら考え行動できる人の育成」を教育目標に掲げ、全員担任制や生徒がつくる修学旅行など、生徒一人ひとりが当事者となり自己決定し、自律を促す教育が実践されていました。視察では、総合的な学習の時間の様子も視察しました。

〈千葉県千葉市〉

千葉市では「はじめよう、ちばチャリスタイル!」と銘打って、自転車ルールブックの作成や学生・警察と連携した街頭啓発など、市民の意識向上につながる自転車のまちづくりが行われていました。



9月30日
横浜創英中学・高等学校にて



10月31日
千葉市役所にて

健康福祉常任委員会

地域総ぐるみで子どもの居場所づくりを推進

〈神奈川県小田原市〉

小田原市では、子どもの居場所づくりを進めるにあたり、「スクールコミュニティ」という考え方を掲げています。これは、地域総ぐるみで子供を見守り育てようという考え方で、この理念の下、自治会などが居場所づくりを行っている他、自治会や子供会、PTAなどの情報発信を市が支援する取り組みを実施しています。また、市長のリーダーシップにより庁内で部局を超えた連携が図られるなど、居場所づくり推進の土壤づくりがなされていました。



10月7日
小田原市役所にて

市民生活常任委員会

脱炭素社会に向け、まち全体で連携・協働した取り組み

〈神奈川県葉山町〉

葉山町では、令和元年9月にSDGsの目標達成のために、町民や事業者と連携・協働して推進する環境に配慮した町独自の行動項目として、「はやまクリーンプログラム」をスタートし、「町内で暮らすすべての方が地球の未来のために本気で行動しているまち」ということを世界に向けて発信していくことを目指しているとのことでした。また、町民が開発した「キエ一口」という生ごみ処理器についても視察しました。



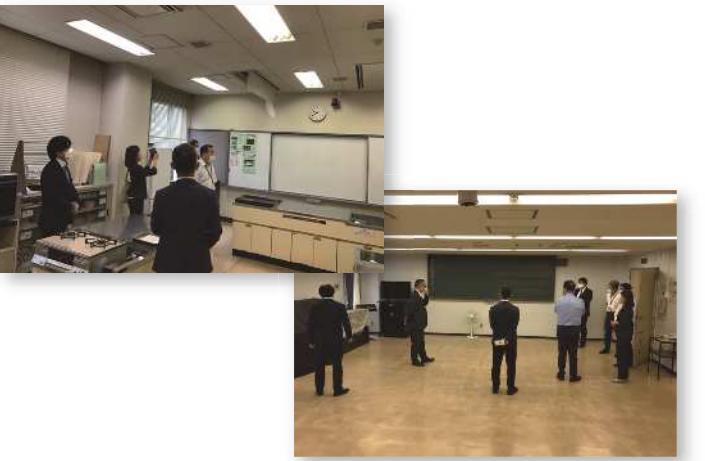
11月8日
葉山町役場にて
キエ一口を見学



本市議会では、委員会ごとに「年間活動テーマ」を決めて、調査・研究を行っています。今定例会の初日には、閉会中に各委員会が実施した先進地への視察について、各委員長から報告がありました。ここではその概要をお伝えします。

総務委員会が市内公共施設を視察

令和4年10月5日に、老朽化が進む市内の公共施設の現状を把握するため、心身障害者福祉センターと東部福祉センターを視察しました。福祉作業所が入居するなど、多くの障害者が利用する心身障害者福祉センターでは、重度心身障害のある利用者が増えるなど、建設当時とはニーズが変化していることを確認しました。一方、建設から50年近くが経過している東部福祉センターでは、各設備の故障など、毎年多額の修繕費用が発生していること、一部の部屋では雨漏りが発生していることなど、着実に老朽化が進んでいる状況を確認しました。



文教・建設委員会が戸田市サイクリング連盟との議会懇談会を開催



令和4年10月21日に、自転車のまちづくりについて、市内の現状や課題を把握するため、戸田市サイクリング連盟の方々と懇談を行いました。参加者からは、彩湖・道満グリーンパーク内でスピードを出して走行している自転車の危険性や、塾などに通う子供たちの夜間の自転車走行の安全確保が課題として挙げられました。これらに対し、自転車利用者へのさらなるルール・マナーの周知啓発の重要性や、中学生にバックライトを配付してはどうかなど、課題解決に向けた積極的な意見交換を行いました。

議会モニターとの意見交換会を開催

令和4年12月6日に、市民の皆様からのご意見を広く聴き、議会運営に取り入れるために任命している議会モニターと、正副議長・議会運営委員長・議会改革委員長・議会広報委員長による意見交換会を開催しました。モニターからは、議会だよりの記載の改善点や議会モニターの応募者数の増加に向けた取り組みなど、多岐にわたる内容について、活発に意見交換を行いました。



リバプール市とオンラインで交流



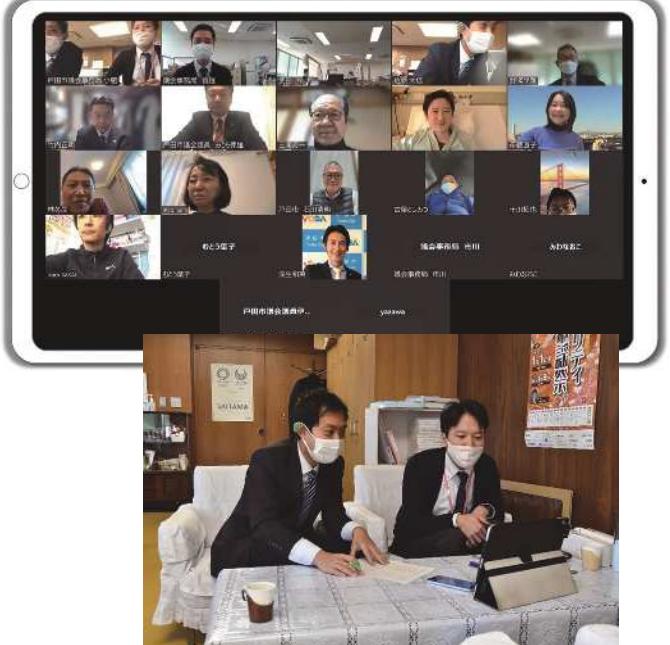
1992年10月に締結した、オーストラリアのリバプール市との姉妹都市提携が30周年を迎えたことを記念し、令和4年10月20日に、オンラインによる記念式典が開催されました。議会からは、議長をはじめ4人の議員が参加し、両国の新型コロナウイルスの感染状況などについて懇談を行いました。また、記念品として、リバプール市からは陶芸作品が、本市からは七宝焼きが贈られました。



リバプール市（左）と本市（右）からの記念品

月イチオンラインミーティングを導入

本市議会では、平成30年の全議員へのタブレット貸与を皮切りに、議会のICT化・オンライン化を進めてきました。今後、各種会議のさらなるオンライン化を見据え、オンライン会議の定期的な開催機会を設けることと、議員と議会事務局との情報共有を密にすることを目的に、毎月一回のオンラインミーティングを10月から導入することとしました。



進行は議席番号順で議員が務めます

雨水貯留施設の先進事例を見学



大雨時の浸水対策として、本市でも北大通りでの工事が進められている雨水貯留施設についての理解を深めるため、杉並区にある「和田弥生幹線」を見学しました。「和田弥生幹線」では、地下50mに直径8.5mの雨水貯留管が約2.2kmにわたって埋設されており、最大約15万m³の雨水（学校のプール500杯分）をためることが可能で、設置後、令和元年の台風第19号でもその効果を発揮するなど、周辺地域の浸水被害が激減しています。見学では、施設の仕組みや効果について、資料や模型を使っての説明を受けた他、地下14階まで階段で降り、雨水貯留管の内部を見学しました。



表紙写真紹介

新曾南保育園での「新年を祝う会」に伺いました



令和5年1月10日に新曾南保育園での「新年を祝う会」が行われました。園で採れたミカンが乗った鏡餅や、画用紙などで作られたお雑煮の飾りが飾られる中、15年近く使用されている大迫力の手作り獅子舞が登場し、子供たちの無病息災を祈って舞ったり、頭を噛んだりして回り、最後は口から大きなお年玉袋を出して子供たちを喜ばせていました。

その後、0歳児クラスや1歳児クラスを獅子舞が回ると、先生の陰に隠れる子や、興味を示して近づいていく子など、一人ひとりが違った表情を見せっていました。



今回の表紙となった「新年を祝う会」の他に、市役所で行われた消防出初式にも参加し、その様子を撮影させていただきました。消防ポンプ車8台による一斉放水をはじめ、消防職員や消防団員・少年少女消防クラブ員の凛々しい姿が印象的でした。

大リニューアルの1年を終えて

昭和48年の創刊以来、50年にわたり「右開き」でお送りしてきた「とだ議会だより」を、令和4年3月定例会号にて「左開き」へと大リニューアルを行い、今定例会号をもって1年間の発行作業が終わりました。巻頭の特集ページなど、大きく変化した議会だよりはいかがでしたか？今後も、皆様に「読まれ」「伝わる」議会だよりを目指してまいりますので、引き続きご愛読いただきまますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

題字を
書いて
くれた人



とだ

平仮名なので柔らかい印象にすることを心がけて書きました。6年間続けてきた書道の成果を表紙の文字として形にすることで嬉しく思います。日本の文化である書道が、これからも戸田市の活動に生かされていけばよいと思います。

戸田中学校 2年 柳澤くるみさん

次回2月臨時会・3月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
			2/1	2	3	4
19	20 施政 方針	21 議案 説明	22	23	24	25
26	27	28	3/1	2	3 総括 質問	4
5	6 質疑	7	8	9	10	11
12	13 特別 委員会	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24 討論 採決	25



議会広報委員会委員一同

*本紙は環境に配慮し「バイオマスインキ」を使用しています



発行・戸田市議会 編集・議会広報委員会

戸田市

TEL 048-441-1800(代) FAX 048-433-2212

※QRコードはデンソーウエーブの登録商標です

〒335-8588 戸田市上戸田1丁目18番1号

メール gikaijimu@city.toda.saitama.jp

ホームページ <https://www2.city.toda.saitama.jp/gikai/>



バイオマス
No.100014